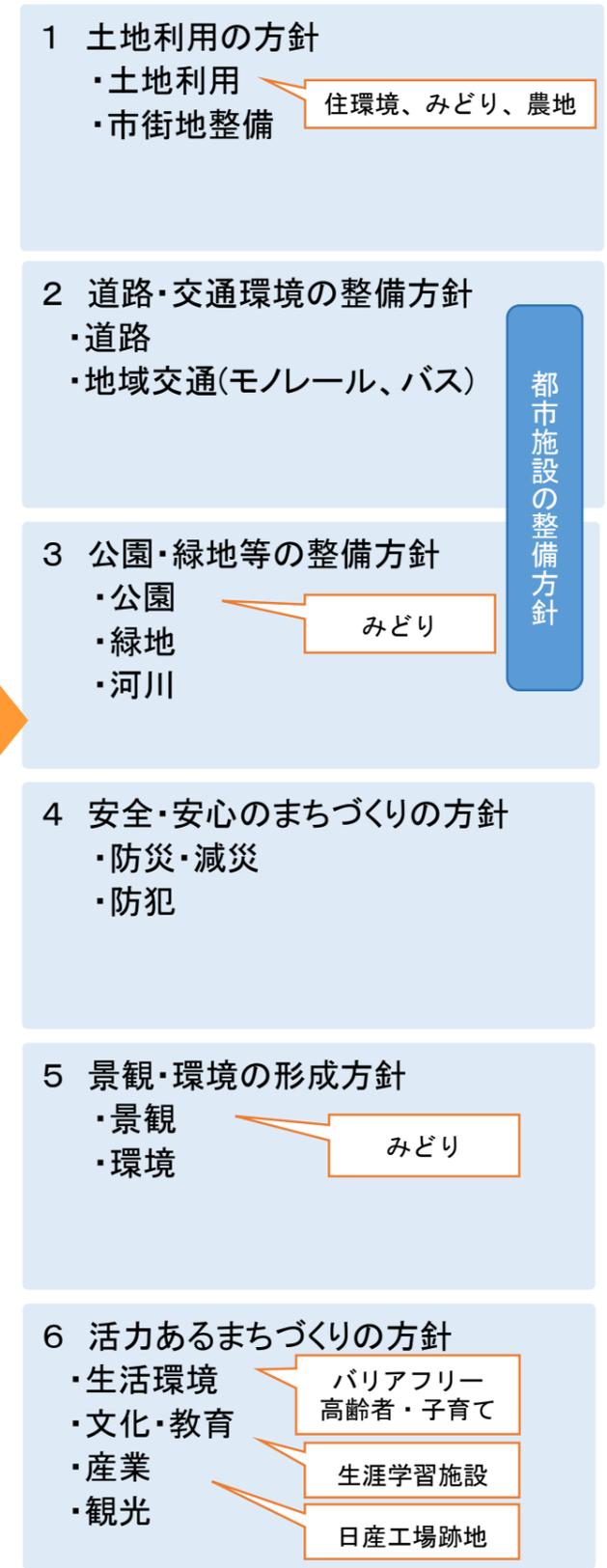
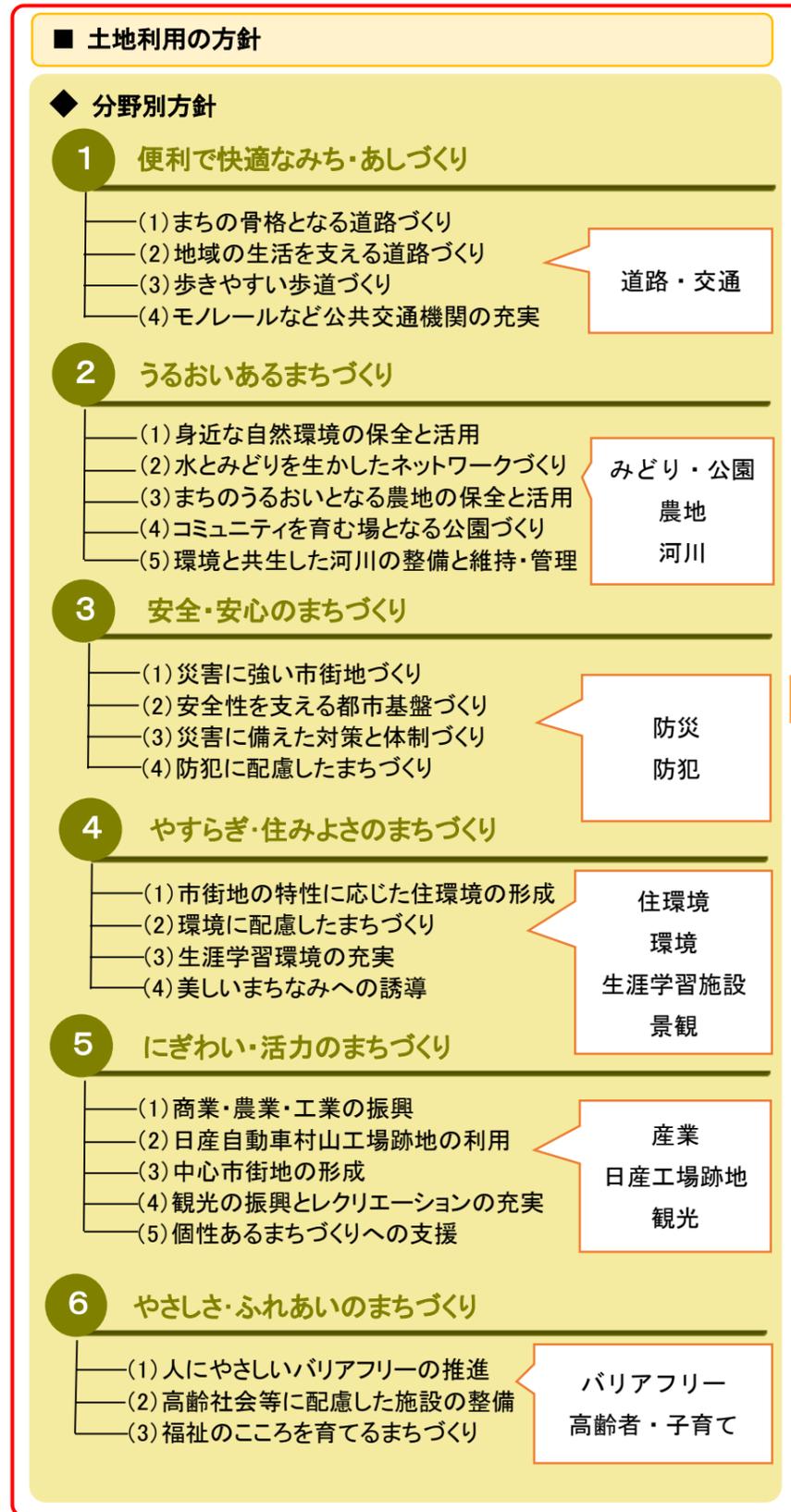
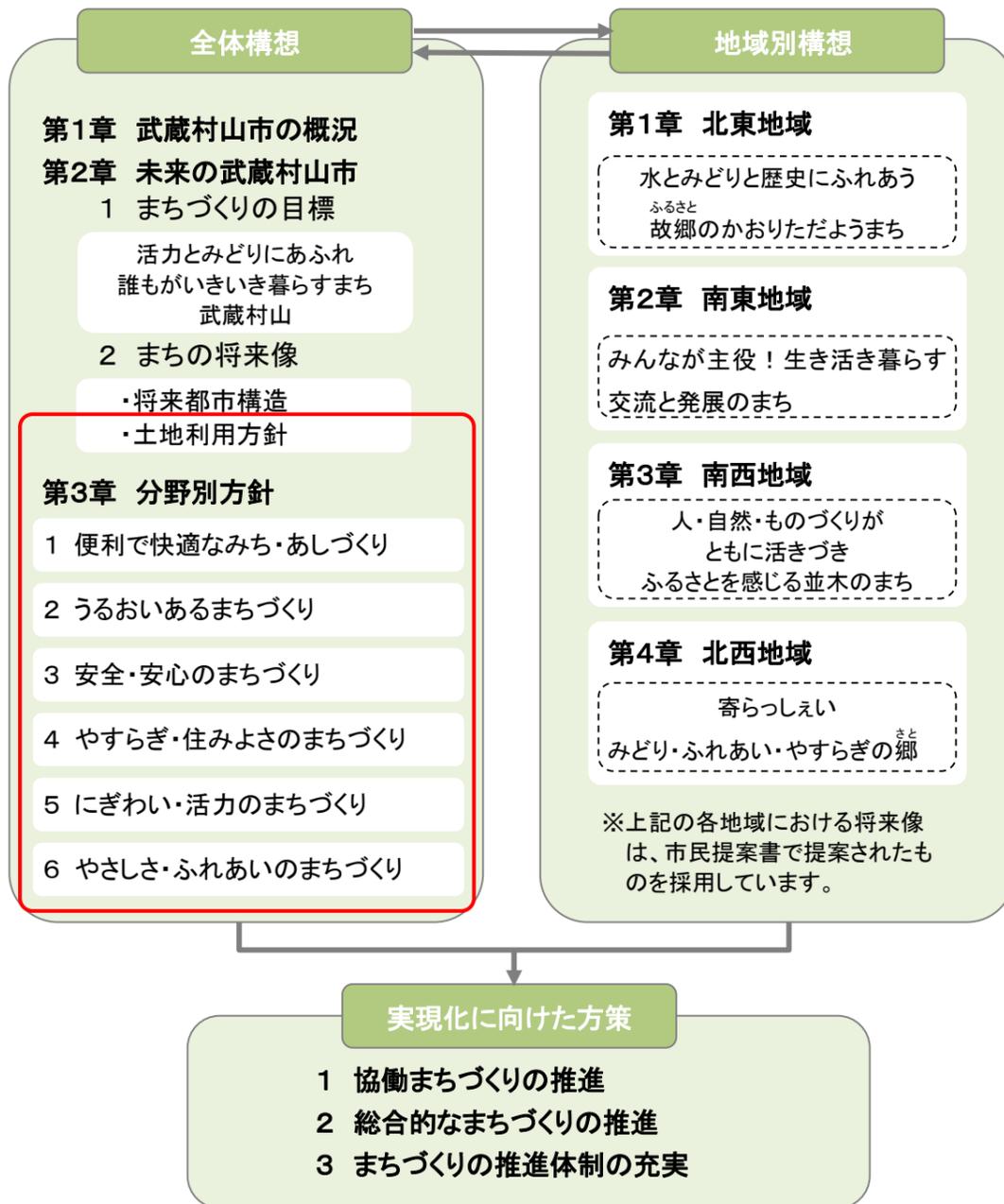


1. 分野別方針の構成について

■ 現行計画

■ 見直し案（都市計画の体系ベース）

〈まちづくり基本方針の構成〉



## 2. 地域別構想の地域区分について

現計画の地域区分は、新青梅街道と八王子村山線を境に4地域に分かれ、南北が分断された形となっているが、本市は今後予定される多摩都市モノレールの新駅設置や都市核土地区画整理事業等による新たなまちづくりを推進しているところである。

そのため、第五次長期総合計画の将来都市構造図にも位置付けられた「都市核」・「サブ核」を拠点とした南北方向への人の流れや地域の繋がりを創出し、「都市軸（新青梅街道）」による東西方向の交通機能の連携を強化した武蔵村山市らしい都市構造を形成するため、3つの地域へと再編を行う。

### ■ 第五次長期総合計画における将来都市構造

#### 《都市核》

多摩都市モノレールの延伸により新駅設置が想定される、本町・榎地区の新青梅街道周辺から村山工場跡地の北地区付近までを広く都市核と位置付け、本市の顔となる魅力あふれる中心市街地として、商業、住宅、行政サービス、防災などの多様な機能を集積します。

#### 《サブ核》

多摩都市モノレールの延伸により、本市の玄関口となる緑が丘地区と中原・岸地区を東西のサブ核と位置付け、市民生活の拠点として、住宅のほか商業、生活支援機能などを集積します。

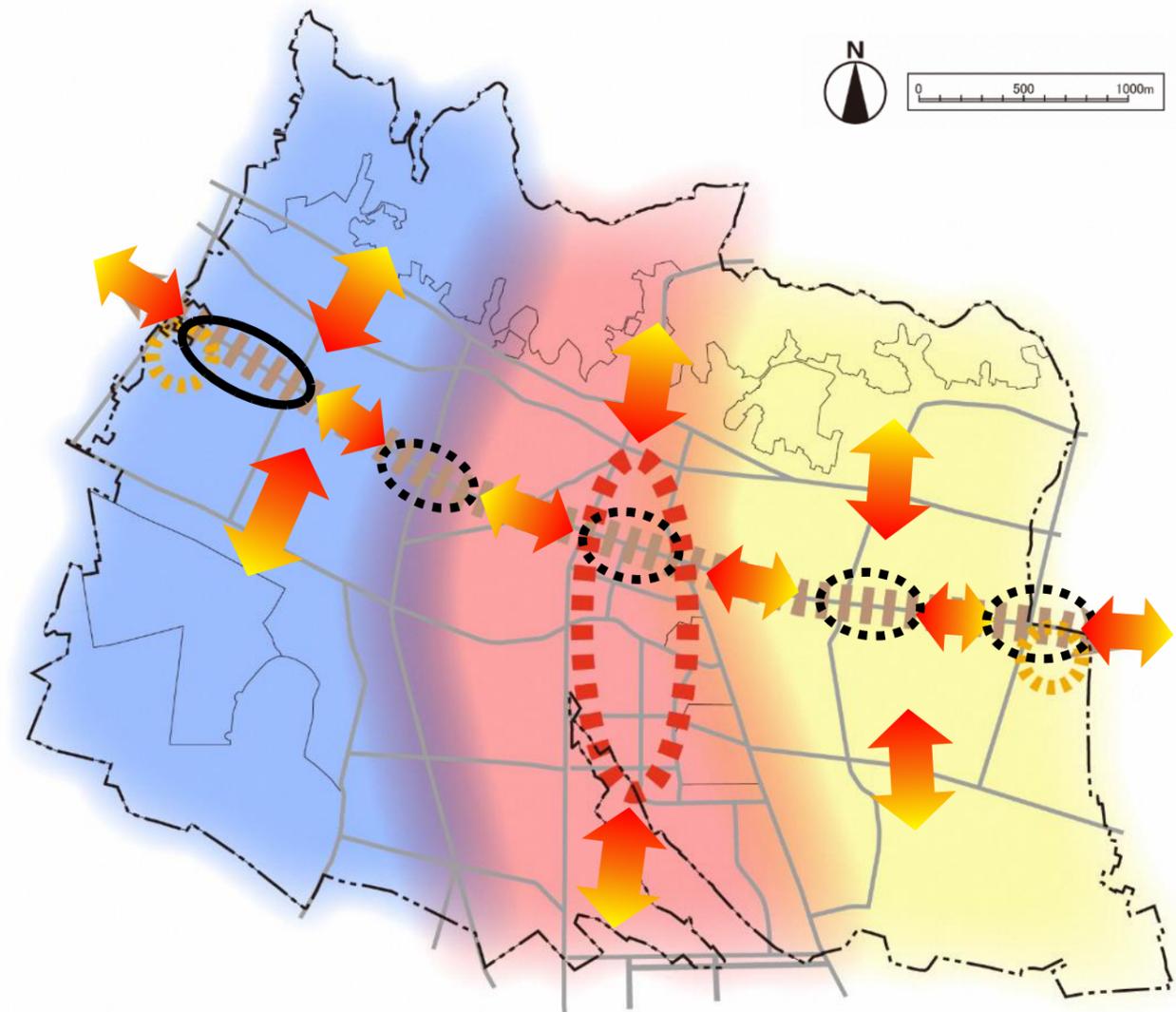
#### 《都市軸》

新青梅街道とその沿道空間を都市軸と位置付け、広域的なネットワークを強化します。また、にぎわいと活力のある、みどり豊かな広がりや厚みをもったうまい沿道市街地を形成します。

<参考> 現計画の地域区分



## ■ 地域区分案



### 凡例

【核】			
	都市核		東地域
	サブ核		中央地域
			西地域
【軸】		【道路】	
	都市軸		人の流れ
			モノレール想定駅
			まちの骨格となる道路 (主要幹線道路、幹線道路、 補助幹線道路)